

2/22

封鎖—大学解体路線を拒否し 徹底的改革を闘いとりよう!

24日 文学部教授会団交に結集し

学部協、学部長選への学生参加を獲ちとりよう!

封鎖貫徹—入試阻止—大学解体か、徹底した民主的改革か  
向題は、ここにあり

全中大の学友諸君、我々は今、さゆめを重大な選択を迫られている。すなわち、封鎖貫徹—入試阻止という「大学解体」の道をえらぶのか、それとも、徹底した「大学改革」の道をえらぶのか、という選択を。

大学解体とは一体何か? 関西の四知実大学(京大、阪大、神大、大阪市大)を中心にして入試紛糾、大学解体統一闘争を展開せよ、とわめかたて、いる社会同、統一会議(共労党系)に代表される。封鎖貫徹—入試阻止—大学解体路線の意味するものは一体何なのか? それは権力の大学への直接介入以外の何ものでもなすないう。政府自民党、大阪府警の市大への直接介入を阻止し、市会自民党は学内反動派と結託して大反勢に転じてくるであろうことは明白である。つまり封鎖は疑いもなく大学改革ではなく、解体の方向に導くものであり、そのことは、政府独占の反動的大学由編策動、安易に乗っかってしまつて、以外の何ものでもない。我々は断じてこのようことを許してはならない。

△フ、ーと徹底した大学改革の斗争を  
24日文学部教授会団交に結集し、学部協、学部長選への学生参加を勝ちとりよう

今こそ我々は、明確に大学改革の方向を示さねばならない。その基本的視点は、向よりを政府独占の増々尖鋭化する反動反勢と鋭く決する大学を要求することにある。それは従来の教授会自治というワケを打ち破り、大学の管理運営への大中学生の参加を勝ちとることに、このが可能である。我々は、まず第一に、教員と学生の代表から組成され、実質的な最高決定権を有する全学協、学部協の設置を、次に、学長、学部長選への学生参加を勝ちとりねばならない。

24日に開かれる文学部教授会団交に向けて、文学部の学生は、この機会に、大学の管理運営の決定権を勝ち取り、断じて政府による支配を拒絶する。

大学の民主的改革をめざす100人委員会 2/22